


モニタリング計画

 阿賀野川河川事務所
令和5年11月



- ・ 令和2年度で、短期的対応の全ての整備が終了。
- ・ 小阿賀樋門は効果が確認されたことから、モニタリングを終了する。
- ・ 令和6年度は水ヶ曾根地区でのモニタリングを継続する。

分類	項目	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
ワンド再生	焼山地区	前	工事	整備モニタリング 追加調査、追加対策の検討					河川監視モニタリング (魚類)				
	高山地区	前	工事		工事	整備モニタリング							
	論瀬地区			前	工事	整備モニタリング							
	下里地区				前	工事	整備モニタリング						
	水ヶ曾根地区				前	工事	整備モニタリング						
流れの多様性	三本木大橋下流				前	工事	整備モニタリング						
	善願橋下流						工事	整備モニタリング					
連続性の確保	満願寺閘門			運用開始	整備モニタリング								
	小阿賀樋門					前	工事	整備モニタリング					
砂礫河原の再生	水ヶ曾根地区					前	工事		整備モニタリング				

※本工程表は、当初工事までの案を示している。 工事後は、整備モニタリングを行い、整備箇所状況を評価し、必要に応じて追加対策等を検討する。

前 : 事前調査

整備モニタリング後には河川監視モニタリングを実施する。

- ・ 測量、及び、河川水辺の国勢調査による生物調査。
- ・ 測量は、大規模出水後に実施。
- ・ 国勢調査は、魚類、植生図・河川形態を対象とし、5年に1回のサイクルに合わせ実施。

- ・中期的対応では、現在、沢海地区での浅場再生に着手しており、次は早出川での河原（ワンド）の再生、および連続性の確保に着手する予定。

整備メニュー	整備箇所			中期整備																									
				第1段階（再生技術の検証）									第2段階（再生技術の展開）									モニタリング							
	地区名	左右	距離標	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13	R 14	R 15	R 16	R 17	R 18	R 19	R 20	R 21	R 22	R 23	R 24	R 25	R 26	R 27	R 28	
浅場の再生	沢海地区（第1段階）	左	14.0k~16.4k	●	●																								
	沢海地区（第2段階）			(第1段階整備後モニタリング結果を基に判断)																									
	六郷地区	左	19.2k~20.6k					○					●	●	●														
	法柳地区	右	11.8k~13.0k									○						●	●	●									
	小杉地区	左	9.5k~11.2k																○								●	●	●
河原（ワンド）の再生	早出川地区	-	0.0k~2.0k		○																								
	六郷地区	左	19.2k~20.6k					○					●	●	●														
	小浮地区	右	26.2k~27.8k													○				●	●	●							
連続性の確保	都辺田川合流点	右	27.2k付近									○	■	■	●	●	●												
	桑山排水樋管	右	0.9k付近												○	■	■	●	●	●									
	太田川排水機場樋門	左	2.4k付近																	○	■	■	●	●	●				
	千唐仁樋管	右	24.2k付近	○	○			■	■	●	●	●																	
	海老漣樋門	右	26.6k付近										○	■	■	●	●	●											
	論瀬樋管	左	27.8k付近															○	■	■	●	●	●						
	急勾配緩和	大河原樋管	右	23.4k付近	○	○	■	■	●	●	●																		
参考：河川水辺の国勢調査				基	鳥	昆	魚	底	基	両	植	魚	底	基	鳥	昆	魚	底	基	両	植	魚	底	基	鳥	昆	魚	底	

- ：整備前モニタリング・検討
- ：整備後モニタリング

- 魚：魚類
- 底：底生動物
- 植：植物（植物相調査）
- 鳥：鳥類
- 両：両生類・は虫類・哺乳類
- 昆：陸上昆虫類
- 基：河川環境基図

※河川水辺の国勢調査の調査項目は現時点での想定

整備モニタリング後には河川監視モニタリングを実施する。

- ・ 測量、及び、河川水辺の国勢調査による生物調査。
- ・ 測量は、大規模出水後に実施。
- ・ 国勢調査は、魚類、植生図・河川形態を対象とし、5年に1回のサイクルに合わせ実施。